

製品名: タイトジャンクションタンパク質 ZO 3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02790**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 101 kDa; Observed MW: 140 kDa

抗原情報

遺伝子名	TJP3
別名	ZO3; ZO-3
遺伝子 ID	27134
SwissProt ID	O95049
免疫原	ヒトゾヌラオクルデンスタンパク質3の合成ペプチド

背景

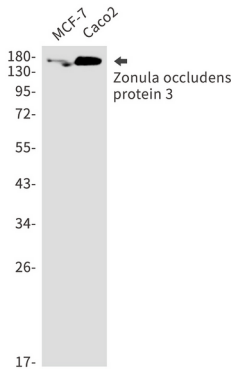
TJP1、TJP2、およびTJP3は、クローニン、ジャンクション接着分子、オクルデンなどのタイトジャンクション（TJ）膜貫通タン

パク質をアクチン細胞骨格に連結する、密接に関連した足場タンパク質です (PubMed:16129888)。タイトジャンクションは、細胞間空間を通過する物質の移動を制限する役割を果たし、上皮細胞と内皮細胞の、構成的に異なる頂端側と基底外側の細胞膜ドメイン間の境界として機能します。PATJはタイトジャンクションに結合してリクルートし、タイトジャンクションの頂端側と側方の成分を連結して安定化させます (PubMed:16129888)。有糸分裂中にタイトジャンクションからサイクリン D1 (CCND1) を隔離することで細胞周期の進行を促進し、M 期における CCND1 の分解を防ぎ、S 期への移行を可能にします (PubMed:21411630)。TJP1 および TJP2 とともに、転写因子 DBPA の接合部における保持と安定性に関与するが、核への輸送には関与しない。TJP2 とは異なり、TJP3 は、少なくとも実験室環境においては、個体の生存、胚発生、上皮分化、そして TJ の確立には必須ではない。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



タイトジャンクションタンパク質 ZO 3 抗体を使用した、MCF-7、Caco2 溶解物中の Zonula occludens タンパク質 3 のウエスタンブロット分析。